

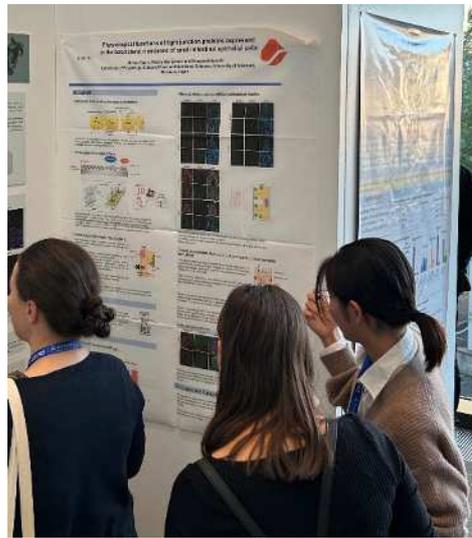
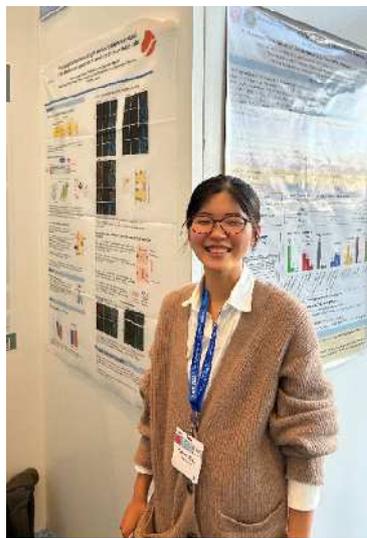
報告書

IUPS 2025 にてポスター発表

2025年9月11日から14日にドイツのフランクフルトで開催された IUPS (International Union of Physiological Sciences) 2025 に参加しました。本学会は4年に1度開催され、ヨーロッパを始めとする世界中の研究者が集い、生理学の様々な分野において最先端の研究報告や活発な討論が行われました。

私は「Physiological functions of tight junction proteins expressed in the basolateral membrane of small intestinal epithelial cells (小腸上皮細胞の基底側膜に発現するタイトジャンクションタンパク質の生理機能)」という演題でポスター発表を行いました。本研究は腸管に発現するタンパク質の生理機能解明を目的としており、発表には同分野の研究を行う主催国のドイツを始めとする各国の研究者が訪れました。質疑応答を通じ、研究分野に対する新たな知識や視点を得たり、分野自体に対する興味を深めることもできました。

自身にとって初の海外渡航でもある中で、英語を用いて初対面の海外の方と議論を交わすという貴重な経験を学生のうちに得られたことは非常に幸運であると同時に、様々な面でサポートしてくださった先生方に大変感謝しています。ありがとうございました。



薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻
博士前期課程2年 生理学研究室
尾形 美晴